神屋・湯湾岳

【所　在　地】奄美市住用村，宇検村
【種　　別】国指定天然記念物
【指定年月日】昭和 43 年 11 月８日

湯湾岳

神屋の原生林

神屋は住用川上流，ダム周辺の神屋国有林のことで，樹齢 100 年を越えるスダシイを優占種とする亜熱帯の照葉樹林が広がり，林床にはアマミカタバミ，アマミコナスビ，アマミスミレ，コケサンショウソウなど奄美固有の植物も多く自生している。

湯湾岳は標高が 694.4m で奄美最高峰をなし，その山頂一帯には，ミヤマシロバイ，ミミズバイ，クロバイ，アマシバなどハイノキ属の樹木が４種も出現するなど注目すべき特徴をもった低木林が発達している。さらにここには，アマミヒイラギモチやアマミフユイチゴなど珍しい植物も自生している。

両地域ともわが国に残された貴重な亜熱帯林として保護されているが，さらにこの地域は，特別天然記念物のアマミノクロウサギ，天然記念物のトゲネズミやケナガネズミ，ルリカケス，オーストンオオアカゲラ，オオトラツグミなど貴重な野生動物の生息地にもなっている。